

平成27年度PTA指導者研修会 実施要項

【PTA指導者支援事業（東部会場）】

1. 趣 旨

家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織であるPTAの役員を対象に、現代的課題をふまえながら指導者としての資質の向上を図る「PTA指導者研修会」を実施することで、役員から各単位PTAに研修内容を広げていき、PTA活動の活性化、子ども達の基本的な生活習慣の定着化、学習環境の整備を図る。

2. 主 催 鳥取県PTA協議会

3. 期日・会場

平成27年6月13日（土） 国府町中央公民館

4. 参加者 東部地区各小・中学校単位PTA役員 2名程度 (毎年実施している本研修に未参加の方が望ましい)

5. 日 程

9:00 9:30 10:00 10:10 12:00

受付	開会行事 施策説明	休憩 移動	分科会	閉会
----	--------------	----------	-----	----

6. 研修内容

(1) 全体会

あいさつ（主催者）

施策概要説明 鳥取県教育委員会 東部教育局
社会教育担当 社会教育主事 寺谷 孝志 氏

(2) 分科会

① 第一分科会（PTA活動活性化分科会）

「**広報紙の作成手法**」 【事例発表2＋講演(新聞社)＋討議】

発表者 : 鳥取市立醇風小学校 PTA
鳥取市立南中学校 PTA

講 師 : 新日本海新聞社取締役編集制作局長 田中 仁成 氏

② 第二分科会（メディア対策分科会）

「**みんなで考えよう、ケータイ・スマートフォン**」

【講演+討議+iPadでのグループ演習】

講 師 : NPO法人企業教育研究会 事務局長 市野 敬介 氏

③ 第三分科会（家庭教育力向上分科会）

「**自立のしつけ**」をめざして 【参加型演習】

講 師 : 鳥取県教育委員会 東部教育局
社会教育担当 社会教育主事 寺谷 孝志 氏

7. その他

駐車場は国府町中央公民館と国府中学校を借用予定です。駐車場係の誘導にご協力ください。また、台数に限りがありますので、なるべくお乗り合わせでお越しください。

平成 27 年度 鳥取県 PTA 指導者研修会(東部地区)報告書

第一分科会 (PTA 活動活性化分科会)

テーマ:「広報紙の作成手法」事例発表2+講演+討議

☆ 発表校:

①醇風小学校 副部長:松田さん

発行部数 550 部(家庭数、町内他)年 2 回発行、表紙・裏表紙のみカラー

68 年間の歴史があり、H8 から続く連載もある。

内容のマンネリ化を防ぐため、日々話し合い、先生方からの話も参考にする。

②南中学校 部長:山根さん

広報誌は学校だよりではない・・・保護者目線の発信をこころがける。

内容例:座談会を開いて先輩保護者から学ぶ。知らないことを紹介する

(タイトル横のマークは?月見の会とは?)。親の想いを届ける 等

苦労したことは、写真選び、タイトル、テープ起こし

工夫したところは、会議時間の短縮、年間スケジュールをあらかじめ決定

☆ 新日本海新聞社取締役編集制作局長 田中仁成 さま より講評

・表情がみえない写真は NG

・大量写真より、これ!!と思うものを大きくドカンと使う

・整列したレイアウト、写真の配置はおもしろくない

楽しい PTA 広報紙の作り方

1. PTA 広報紙は、何を作ればいいのか

まずは、保護者目線。

PTA 活動の内容を知らせ、より関心をもってもらい、意見を出したり、活動に役立てたりするために必要な情報を提供するものを作る。(先生の紹介も写真を並べるだけでなく、人間性がわかる紹介にしてもおもしろい)

2. 編集方法と企画内容

編集方針。1年間どのような内容載せていくか、PTA・学校行事計画はどうなっているか、テーマを考える。企画・特集など読み物があると関心が高まる。連載ものや、ミニコラムをのせてもよい。(歴史、古文、ことわざなど)

3. レイアウト

記事、見出し、写真をバランスよく。記事の行数もきめる。(安易な写真の使用や不要な記事、当たり前の見出しに気をつける)

例:秋季大運動会 → 団結力でパワー全開(スローガンを大きく)

キャッチフレーズにひと工夫して目をひかせる。

過剰な平等意識は持たない。形式的平等よりも実質的平等。段数の変化や囲みやケイだけでも紙面に変化が出る。

4. 原稿と取材

依頼原稿は早めにお願ひする。原稿と取材については、マニュアルを用意した方が楽。写真はアップが基本、集合写真は大きくする。なるべく表情のわかるものを使う。合唱や弁論の写真は動きがないので、扱いにくい。写真をとる場合は、縦向きと横向き両方で撮っておくと、役立つ。

5. きまりごと

紙面で必要とされている最小限のこと。編集者、発行者の明示。後記などで個性を出す。わかりやすい表現を心がける。数字・名前などには、特に間違いがないか気を付けること。

最後に……

大切なのは、読み手(主に保護者)が感心を持てること。

保護者が知りたい、伝えたい、ホンネを載せてもいい。

リアルな想いをそのまま紙面に載せて、共感しあう。

ほかのレイアウト(身近なもの:市報など)で「これいい!!」と思ったら、どんどん取り入れていいとおもう。

第二分科会(メディア対策分科会)

テーマ:「みんなで考えよう、ケータイ・スマートフォン」(講演・討議・グループ演習)

講師: NPO法人企業教育研究会 事務局長 市野敬介 氏 スタッフ女性1名

参加者: 56名

【内容】

講師自己紹介 市原さん名古屋出身独身

この活動は千葉大学教育学部から授業づくり(プログラム)を研究し始まった活動で

2006年よりNPO法人企業として立ち上げ現在に至る

まず、会場の参加者にスマホやiPadの所持率をさく。iPadは少なめ、スマホは半分、今後子どもにスマホを持たせるかも…多い

スマホに特化しての話を進める

国語辞典の編集者になったつもりで「ともだち」の意味を隣同士の人と話し合い。

「友達」一般的に話をしたり、遊んだり信頼しあえる人などと大人は考えるが、同じ内容をネット募集したところ、今の子ども若者は、顔は知らなくても、「申請」して「承認」されなければならない関係、Twitter などネット上での関係でも友達としての認識がある。

友達のとらえ方に変化がある。これは、危険で少し怖いことでもある。

体験1 実際にiPadを操作しながら…「ネット安全検定」を。

ネットについての自分の認知度をみる。このアプリは、子どもにスマホを持たせる時に親子でしてみたら子ども

のスマホに対する理解度がよくわかるので保護者にぜひお勧めしたい。それにより、購入時にフィルターをかけて、子どもに使わせる。フィルターは時間制限(10時以降は使用ストップ)、アプリをインストールすることを防ぐもの、年齢制限などいろいろあり、簡単に設定できる。また、最近の販売店ではフィルターや制限も購入時に設定してくれる。

体験2 危ないサイト・トラブルを体験

4パターンのトラブルを実際に操作してみる。

- ① 会員登録→不当高額請求・アダルトサイトに入ってしまう
- ② 無料で…→ゲームなど進めるうち課金システムで支払請求
- ③ 子どもの絵→著作権侵害
- ④ 子どもの画像→個人情報流出・炎上・誹謗中傷

他にも親のクレジットカードナンバーを登録したままで有料アイテムを購入など様々なトラブルがある。

このようなトラブルに遭遇した時、どう対処したらいいか

→相手に連絡しない・少額でもお金を払わない・・・無視すればよい

子供が相談してきたら

「よく言ってくれたね」とまず叱らず、話してくれたことを認める

相談窓口[こたエール]などもある

みんなで考えようケータイ・スマートフォンのDVD「地域で考えようスマホ利用の危機管理」を視聴
感想を言いながら印象に残ったシーンを話す

【まとめ】

スマホを使用するにあたり、親は、困った時にすぐ相談できる雰囲気づくり。まずは子どもに何かおかしいなと感じたらすぐ相談してと伝えること。子どもが言いにくい場合もあるので、子どもの様子を見て察してあげること。フィルタリングすること。など

また、子どもは、親には言いにくいこともあるので、自分の子以外でも何かおかしいなと感じたら、念のために一声かけることが大切。困った時に気軽に連絡相談できる関係を築くことが大切。

「みんなで考えようスマホ・ケータイ」DVD3本セットは無料で配布中。

- ・地域で考える
- ・先生と子どもが考える
- ・スマホの持ち方ルール

この研修会で使用した資料スライドもダウンロードできます

第三分科会(家庭教育力向上分科会)

テーマ:「自立のしつけ」をめざして(参加型演習)

講師: 県教委 東部教育局 社会教育担当 主事 寺谷孝志氏

参加人数: 55名(担当役員含む)

【内容】

今回は3回目。こんなに参加者が多かったのははじめてです。

わいわい話しながら、わが子のことをイメージしながら考えて下さい。

○本日のメニュー

1. 「自立のしつけ十か条」
2. 子育ての好ましい環境とは?
3. 子どもの「しつけ」とは?
4. まとめ

○アイスブレイキング

始める前にアイスブレイキングをします。

「あと出しじゃんけん」

練習なしで行きます。練習なしは難しいです。

最初は、私が出したものに勝つものを出して下さい。

これができたら脳年齢が50代。

次に、あいこ。これができたら脳年齢が30代。

最後に、負け。これができたら脳年齢が10~20代。(できたのはふたりでした。)

○グループ討議

グループ分けのために順番を決めます。

ふたり組になって、両手の指で好きな数字を出して下さい。

ふたりの指の数を足して7になったら、ハイタッチで「いえーい!」として下さい。

5人の方と7になったら順番に並んで下さい。

(並んで番号を数えたら55人目までいたので、13チーム(4または5人)に分かれました。)

ルールとマナーを確認しておきます。

① 参加 積極的に参加して下さい。パスでもOKです。

② 尊重 環境が違うので、考えていることも違います。

おかしいとは言わずにそういう考え方もあるんだと考えて下さい。

「うんうん」「なるほど」とうなずいて聞くと、話す側は信頼されていると感じます。

③ 守秘 相手を信頼して話してくれます。個人情報を守って下さい。ここで忘れて帰って下さい。

社会教育では子どもの成長に必要な「10のしつけ」というものがあります。

教育評論家の武田頂子さんは

「しつけとは、親がわが子に一人で生きていくための生き方を教えること。」と定義され、
「自立のしつけ十か条」を作成されました。

○「自立のしつけ十か条」

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 生活習慣のしつけ | 2. あいさつとマナーのしつけ |
| 3. 家事分担のしつけ | 4. 食事のしつけ |
| 5. 金銭と物質(もの)のしつけ | 6. 学習習慣のしつけ |
| 7. 整理整頓のしつけ | 8. 人権尊重のしつけ |
| 9. 感動のしつけ | 10. 言葉づかいのしつけ |

この「自立のしつけ十か条」でワークショップを行います。

- ・自己紹介(子どもの頃好きだったアイドルを含めて)
- ・ワーク1:十の中から3つ大切だと思うものを選ぶ。(理由も含めて)
- ・ワーク2:選んだ3つをグループの中で紹介する。
参加者全員で共有する。
- ・ワーク3:今日の夜からでも実践したい「しつけ」を書く。

○グループ発表で多かった項目と理由

1. あいさつとマナー
コミュニケーションの基本。
「おはよう」のあいさつで家庭が明るくなる。
親がまず見せると子どもも外でやるようになる。
2. 人権尊重
他人への思いやり、心の充実を子どもの頃から養いたい
人を人として大切に想いあうことが大事
3. 生活習慣
早寝早起きすることで、学校で集中できる。
全ての基本

○まとめ

10のしつけで大切だと思ったことは、課題だと思っていることです。

取り組んで欲しい。子どもに声をかけて欲しい。

武田さんは9歳までと言われていますが、できることから取り組んで下さい。

大人になるまでにクリアして立派な大人になって欲しい。

昔は家庭による「しつけ」と、学校による「知育」と、社会による「生活教育」で

それぞれが教育力を持っていた。

子どものしつけはだれがやるのか？自分がしなければなりません。

子どもは親を見て育ちます。自分がしっかりしないといけません。

こどもの「しつけ」とは、「礼儀作法を身につけさせること」

昔は「徳」の部分の押しつけだったが(国や家、親のため)

今は「行動させること」。(あいさつ)考えるだけでは伝わりません。

失敗をくり返しながら身につけるもの。「生活技術」につながります。

大切なのは「親の存在や役割」。

一人で生きていくための「生き方」を教えること。

子どもの生活力に関する実態調査(H24)では、以下の結果が出ています。

・保護者の「体験支援」「生活指導」的なかわりが多いほど、子どもの生活スキルが高い。

「体験支援」:勉強以外のこと 「生活指導」:休みの日でも早起きさせるなど

・声かけだけではダメで、親のいいところを見せること、悪いところを見せることも大事。

その子がどんな大人になって欲しいかを考えながら、

うまくいかなければ再チャレンジさせてあげて、うまくいけばほめてあげてください。

長いスパンで考えて、家に帰ったら10の内まず一つずつやってみましょう。

【感想】

アイスブレイキングがよかったのか、自己紹介に好きなアイドルを入れたのがよかったのか、グループ討議は最初から最後まで非常に盛り上がり、休憩時間も途切れることはありませんでした。グループ発表では大切だと思う「しつけ」について、同じ項目をあげたグループが多かったので、みなさんが同じような事を考えているのだなと思いました。非常に有意義な分科会でした。

平成27年度PTA指導者研修会 参加者アンケート集計結果

〔研修会内容〕

第一分科会	(PTA活動活性化分科会)	「広報誌の作成手法」 事例発表2+講演+討議
第二分科会	(メディア対策分科会)	「みんなで考えよう、ケータイ・スマートフォン」 講演+討議+グループ演習
第三分科会	(家庭教育力向上分科会)	「自立のしつけをめざして」 討議+参加型演習

〔結果〕

1 学校区分 ①小学校(111名/57校=1.95人) ②中学校(53名/21校=2.52人) ③その他(0名)

2 参加分科会

(1) 参加者数(164名)

①第1分科会(45名) ②第2分科会(62名) ③第3分科会(57名)
①第1分科会(27.4%) ②第2分科会(37.8%) ③第3分科会(34.8%)

(2) アンケート回収率(133名、81.1%)

①第1分科会(30名) ②第2分科会(53名) ③第3分科会(50名)
①第1分科会(66.7%) ②第2分科会(85.5%) ③第3分科会(87.7%)

3 分科会について

(1) 分科会評価 ①良い(104名) ②だいたい良い(16名) ③あまり良くない(0名)
①良い(86.7%) ②だいたい良い(13.3%) ③あまり良くない(0.0%)

(2) 研修活用 ①是非活用(69名) ②今後検討(60名) ③活用難しい(1名)
①是非活用(53.1%) ②今後検討(46.2%) ③活用難しい(0.8%)

〔考察〕

- ・全体的に高い評価を頂いたと考えるが、以下に挙げたいいくつかの点において改善を検討していく。
- ・第一分科会「広報誌の作成手法」は、参加された方から高い評価を頂いているにも関わらず、八頭郡、岩美郡において参加者が少ない結果となった。次年度は人数配分の他に、事前の分科会PRなど、それぞれの分科会への参加を促す工夫が必要であると考えられる。
- ・分科会への参加比率、アンケートの回収率においても第1分科会が低い結果となったが、分科会単体のみならず全体を通して回収率の底上げ方法を検討する。
- ・分科会のテーマについては全員が肯定的な回答だったことから、保護者が望んでいるニーズの高いテーマを選定できていたと考えられる。
- ・第二分科会の「みんなで考えよう、ケータイ・スマートフォン」は実機を使用したグループ演習、第三分科会の「自立のしつけをめざして」は参加型の演習であったことから、参加した感が強く満足度が高かったことが伺える。今後もワークショップ形式を取り入れた分科会を検討していきたい。
- ・第三分科会のような参加型演習の場合、参加者同士の距離がとて近くなり、親交が深まる効果がある。保護者同士がもっと知り合い、今後もつながっていけるように、参加者にて名刺を作り、持参してもらうような企画があっても良い。
- ・研修の活用に関してもほぼ全員(99.2%)の保護者が前向きな検討をして頂いていることから、今回の研修の発展的活用が期待できる。

1 学校区々（合計 164名）

- ① 小学校 111名 ② 中学校 53名 ③ その他 0名

	参加人数	参加人数内訳		鳥取市参加人数		八頭郡参加人数		岩美郡参加人数	
	小中合計	小P	中P	小P	中P	小P	中P	小P	中P
第1分科会	45	29	16	26	16	3	0	0	0
第2分科会	62	45	17	34	13	8	3	3	1
第3分科会	57	37	20	25	16	10	3	2	1
合計	164	111	53	85	45	21	6	5	2

2 参加分科会（第1分科会:PTA活性化、第2分科会:メディア対策、第3分科会:家庭教育力向上

- ① 第1分科会 45名 ② 第2分科会 62名 ③ 第3分科会 57名

	分科会人数	分科会	アンケート回収数			回収率
	小中合計	参加比率	小中合計	小P	中P	小中合計
第1分科会	45	27.4%	30	21	9	66.7%
第2分科会	62	37.8%	53	41	12	85.5%
第3分科会	57	34.8%	50	34	16	87.7%
合計	164	100.0%	133	96	37	81.1%

3 分科会について

(1) 分科会のテーマについて（第1分科会:PTA活性化、第2分科会:メディア対策、第3分科会:家庭教育力向上）

- ①良い 104名 ②だいたい良い 16名 ③あまり良くない 0名

	良い	だいたい良い	あまり良くない
第1分科会	23	6	0
第2分科会	39	7	0
第3分科会	42	3	0
計	104	16	0
比率	86.7%	13.3%	0.0%

(2) 本日の研修した内容を各学校で活用しようと思われませんか

- ①是非、活用したい69名 ②今後、検討したい60名 ③活用は難しい 1名

	活用したい	検討したい	活用は難しい
第1分科会	16	14	0
第2分科会	19	33	0
第3分科会	34	13	1
計	69	60	1
比率	53.1%	46.2%	0.8%

(理由等)

【第1分科会】

- ・今まで、例年通りのもの、子どもたちの写真をだらだら並べた広報紙でしたが、今日のことを踏まえて、少しでも新しいことにチャレンジしていきたいです。
- ・とてもいいアイデアをもらえたと思いました。でも、初めて役員をすとかいう方には、難しいのかと思います。今日、学んだことをまとめて部員さんに伝えることからまず始めてみようと思います。(できる、できないは別として)。そして今年度だけでなく、来年度にもつなげていきたいと思います。
- ・広報紙を作る上での大変なところ、楽しいところをみんなで分かち合いながら進めていくことを部員さんに伝えたいです。私自身も大変勉強になりました。
- ・レイアウト、見出しの取り方など、とても参考になりました。PTAが作る広報紙を意識して作っていききたいと思います。
- ・初めての広報活動でマニュアルもまだ頭に入っていない状態だったので、お話は分かりやすく入ってきました。是非参考にしたいです。
- ・PTAさんの声や悩みなどを取り入れて、共感できる広報紙にしたいと思いました。写真の縦横の使い方など、とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・自分たちの写真の選び方や大きさなど、話を聞きながらこれまでの広報紙を思い出し、より見やすい広報紙づくりに役立てたいと思った。
- ・他の学校の広報紙を参考にレイアウトや原稿を考えていきたいと思います。新聞の編集の方のお話も具体的で分かりやすかったです。
- ・どうしても広報紙にのせる内容が決まったものになっていたの、色々な話を聞いて、取り入れていきたいと思いました。PTAの本音等入れていきたいです。
- ・他の学校の広報紙は普段見ることがないので、とっても楽しく参考にさせて頂くことも多い内容で勉強になりました。なかなかクジでなる部長さんが多い中、変化を求めるのもプレッシャーになってしまわないかという思いもありますが、こんな楽しい広報紙もあるよっていうのをお知らせして楽しく活動してもらえればと思いました。
- ・写真の紙面上での扱い方(レイアウトの仕方、表情豊かなもの)。段の使い方。PTA保護者が主人公であることを意識し、広報紙づくりに役立てたいです。
- ・広報紙をみんなに見てもらえるためには、保護者の目線で作っていくのが良いのでは?と思った。
- ・原稿依頼、校正など。翌年度へ向けてのマニュアル作りは是非進めていくべき。毎年の内容がマンネリ化するのを防ぐために、些細なこともピックアップして記事を作っていくのは面白い。学校のお便りとの差別化、内容をもっと自由に。
- ・醇風小の広報紙の例。実際に取材に出かけていくことが大変多いことに驚いた。随分時間をかけているんだろうなあと感心した。
- ・今後の紙面づくりに活用していきたい。
- ・今日のお話を参考に広報紙を作っていききたいと思います。
- ・広報紙作成は今後も継続していくことなので、今回の内容を踏まえて作成していきたい。
- ・広報紙のマンネリ化打破のため。
- ・保護者、地域の人々とのつながりに役立てると思います。
- ・非常に充実した内容で参考になったが、複数の部員さんに参加してもらった方が活用しや
- ・現在の広報紙がマンネリ化しているため、変化を加えた内容にしたい。
- ・広報紙の参考にしたい。
- ・他の学校の資料がもっと頂けたらうれしかった。
- ・学校の行事だけでなく、地域の行事にも目を向け特集している。

【第2分科会】

- ・知らない内容も分かりやすく教えて頂いた。
- ・ケータイ、スマートホンの研修でしたが、とても良かったです。
- ・ケータイ、フィルタリング、使用方法について勉強になった。正しく知ることが大切だと感
- ・とても分かりやすくて、よかったです。実際の制限もわかって、利用しようと思いました。

- ・フィルタリングの仕方、アプリ制限等、知らないことが非常に多く、勉強になった。
- ・活用したい。手元にiPadがあったことによって分かりやすさが高まった。研修をするにあたっては、iPadが必要。
- ・昨年末、携帯がきっかけでいじめがわかりました。二度と同じことを繰り返したくない。
- ・問題となっているテーマであり、分かりやすかったから。
- ・とってもよかった。
- ・校内（PTA研修会等）で同様の内容を研修したい。
- ・考えようケータイから、DVDを入手して、学校地域で一緒に考えてみなくなった。
- ・楽しくわかりやすい内容だった。
- ・学校の先生方に話を持って帰って検討します。
- ・自分より子供に。
- ・小学生では少し早いと思うが、中学、高校の予備知識として保護者への意識づくり。
- ・テーマを学校と協議したい。
- ・報告をPTAでしたいと思います。
- ・子どもの方がスマホに詳しくなり、親がついていけない。親も勉強する必要があると思う。
- ・子どもたちにケータイやスマホの怖さを教えてあげたい。
- ・時代の流れで必要なものなので、正しい使い方を使ってもらいたい。
- ・スマホのトラブルは、今後増加すると考えられるから。
- ・スマホを持たせる親が増えてきていると思うから。
- ・1年生から6年生まで同じ内容で活用は難しいので、各学年ごとに内容を考えていく必要があると思います。
- ・日々進化するメディア関係については、最新情報・事情を把握しておきたい。
- ・子どもに教えたり、話したりする際に、保護者が理解していないとどうしようもないから。
- ・持っている小学生は少ないと思うので、6年生と保護者対象ならできるかもしれないと思った。
- ・実情を知り、対処方法などを皆で考えていきたい。
- ・親が無関心ではいざという時に対処できないから。
- ・スマホは日進月歩で保護者がついていけないのが現状ではないかと思う。スマホへのフィルタリングのかけ方など、保護者が自分でできるようにすることは大切だと考えるた

【第3分科会】

- ・勉強も大切だが、人が人として生きていく上で、一番基本で、一番大切なことをもう一度見直すことができたように思う。
- ・各学校でも話したいが、まずは自分の子どもからしてみようかと思う。とてもよかったので、研修会もしてみたい。
- ・保護者で集まる機会に、他の保護者の考えも聞いてみたいし、内容も伝えたい。今日はとても良かった。
- ・いろいろな意見を聞いてとても勉強になったので、是非、皆さんにも聞いてほしいと思う。
- ・面白かった。改めて話を聞くと、親の責任という部分が大きいと感じた。
- ・参加型の第3分科会、とても良かったです。しつけに対しての話が分かりやすく良かった。
- ・きっと多くの親が「このままで良いのだろうか？」と不安に思っているんじゃないかと思うので、たくさんの方に研修会で得られた良い内容をお伝えしたい。
- ・参加型の研修だったので、非常に盛り上がり議論が進んだ。また、いろんな人の意見が聞けて参考になった。
- ・とても良い内容だった。
- ・親としての生活態度を見つめ直す必要性を痛感した。
- ・なるほど！と思う意見やアドバイスもあり、子どものことを一人一人考えていきたい。
- ・子どもにとって、親の笑顔は必要であるから。
- ・「しつけ」＝「生き方」。とても良い研修になった。
- ・参加者同士の話が楽しく盛り上がったのが良かった。日々のしつけに共感できた。
- ・当たり前前を当たり前と思いきりすぎたため、気づきがたくさんあった。
- ・学校の研修会の内容の一部に取り入れたい。できればワークショップ的なこともやりたい。また、同じような悩みや考えを持っていらっしやると感じた。

- ・グループのワークショップが良かった。とても参考になった。
- ・各親が自覚をもって取り組めばよいと考えるから。
- ・今年度実施済み。来年もやりたい。
- ・アイスブレイクの利用。
- ・子どもの将来に良いと思った。
- ・PTA会員さんにもしてほしいから。
- ・いい話をたくさん聞けたので。
- ・会長さんに相談します。研修会でなくとも、参考資料として皆さんに配付したりするなど。
- ・楽しかった。
- ・内容はいいと思う。
- ・とても良い内容を、和やかな雰囲気の中で、楽しく学ぶことができた。寺谷先生、ありがとうございました。
- ・子どもの健やかな成長こそ、大事だから。
- ・今、ピッタリの題材の講習会でした。大満足です。ありがとうございました。参加させて頂き良かったです。
- ・研修の仕方など、大変ためになった。
- ・意見交換しやすい。
- ・しつけについて、理論的に捉えなすことができた。PTAの機会に話題として使ってみたいと思
- ・「しつけ」とは子どもにとって、一過性のものではなく、後からでも遅すぎるということは

4 今後、研修したい内容等があれば記入してください。

【第1分科会】

- ・今回の研修はとても良かった。次の人たちのためにも毎年してほしい。
- ・今回の内容がとても楽しく聞くことができました。他校のお話も同じように聞いてみたいです。アイデア、塾。
- ・積極的でない保護者をどうやって、PTAに引き込んだらよいか？成功例など、手法を聞いてみ
- ・思春期、いじめなど。
- ・保護者座談会。なやみ相談など。
- ・モンスターペアレントなど。
- ・特になし。

【第2分科会】

- ・健康な体づくり&食生活について。足の細い子供が多いと思います。とても気になります。体を使った遊びも重要と考えます。
- ・ルールの作り方のポイントなどを学びたいです。
- ・PTA行事の参加率をあげる事例など。
- ・第3分科会の「自立のしつけ」もうけたいと思います。
- ・実践的な研修がしたい。

【第3分科会】

- ・「子供のストレス」をテーマとした内容
- ・子どものストレス発散について
- ・去年、母親委員会でファシリテーターさんに「子どもの話を聞くポイント」を教えて頂きよかったです。是非今後機会あれば開催して頂きたい。
- ・父親の子どものかかわり方など。
- ・スキルのなこと
- ・保護者同士のつながり。
- ・子育ての悩みとか、ざっくばらんに話せる機会が増えるとよい。
- ・先生とPTAのつながり方。
- ・発達障害の子どもについて
- ・ファシリテーターを招いた会。

- ・何時でも子育てのテーマを聞きたい。その時々で心に残ることが違うと思うから。
- ・具体的には思い浮かばないが、マンネリ化しないように考えて頂きたい。
- ・特になし。

5 研修全体を通してお気づきの点などがあれば、ご記入ください。

【第1分科会】

- ・机がなく、メモが大変だった。（大会議室）
- ・受付がわかりにくい。（小中の受け、はっきりとわかるようにしてほしい）。広報紙紹介は、目が疲れる。
- ・スクリーンを使っての説明は、とても分かりやすかったです。
- ・とても参考になりました。各学校の代表の方の発表と編集局長の話はともて面白かったです。
- ・時間的にも内容的にも良い研修でした。
- ・勉強になりました。

【第2分科会】

- ・駐車場の案内がわかりづらかった。
- ・とても勉強になりました。
- ・大変良い研修会でした。ありがとうございました。
- ・より多くの人に、参加してもらう方法を考える必要があると思う。
- ・短い時間で良く説明して頂いたと思います。ありがとうございました。
- ・皆さんしっかり聞かれていたので、良い研修会ではないかと思いました。
- ・同様の研修を頼むときの講師（頼みやすい方）をどうしたら良いのか？
- ・PTA活動に必要な資料を頂戴できたのが収穫でした。必要な情報を検索できるので助かります。参加してよかったと思います。
- ・スムーズな運営だったと思います。
- ・初めての参加で、大変良いと思いました。もっと多くの方にこの研修があることを伝えられたらと思いました。
- ・タブレットが苦手な私にとっては、一度ではよく覚えられません。繰り返し聞きたい内容で

【第3分科会】

- ・県の資料がなかった。参加予定者分は確保してほしい。
- ・第3分科会は人数が多く部屋が狭すぎた。
- ・寺谷先生のお話が分かりやすく楽しく参加できました。ありがとうございました。
- ・とても楽しく分かりやすいお話でした。寺谷先生、社会教育主事ではなく、教育の現場（学校）で是非活躍して頂きたい。子どもに夢を与える授業、学校生活を実践して頂けるな
- ・楽しく研修に参加できた。
- ・3人子どもがいるが、3人目にして初めてこういう研修会に参加させて頂いた。自分自身のことも振り返ることができ、本当にありがたい会でした。ありがとうございました。
- ・研修に参加して良い仲間ができた。
- ・良かったです。
- ・しつけの考え方が変わった。
- ・近年、単Pで研修会に参加する人がとても減り、学校行事の参加も減ってきてとても残念です。役員もずっと同じ人がなり、いやいや役員になった人は、全く出席して頂けないこともあるので、何か良い方法がないものかと凄く考えています。

平成27年度PTA指導者研修会 開催要項

【PTA指導者支援事業（中部会場）】

1 趣 旨

家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織であるPTAの役員を対象に、現代的課題を踏まえながら指導者としての資質の向上を図る「PTA指導者研修会」を実施することで、役員から各単位PTAに研修内容を広げていき、PTA活動の活性化、子ども達の基本的な生活習慣の定着化、学習環境の整備を図る。

2 日時・場所

日時：平成27年6月27日（土）9:30から12:00

場所：倉吉体育文化会館（中研修室）

3 日程

9:00	9:30	10:30	12:00 終了
受付	開会行事・施策説明 全体研修	テーマ別研修会	閉会

4 参加対象

○中部地区 小・中学校 各単位PTA役員3名程度

5 内 容（予定）

(1) 開会行事・施策説明／中研修室

- 主催者あいさつ
- 施策説明（鳥取県教育委員会中部教育局）
- 全体研修（井上洋子さん／前鳥取県PTA協議会会長）

(2) テーマ別研修会

■第1分科会／中研修室

- テーマ：スクールカウンセラーは“こころの問題”の駆け込み寺！
ー子どもたちはスクールカウンセラーに何を話すのか？ー
- 講師：田村真一（たむらしんいち）さん／スクールカウンセラー（臨床心理士）
- 内容：「スクールカウンセラー（SC）」ってご存じですか。現在、SCは県内の全ての小中学校の教育相談室に配属されています。SCは「臨床心理士」の資格を持ち、人間の“こころの問題”にアプローチする、こころの専門家です。子ども達は、保護者、教職員に言えない悩みをSCに訴えています。日頃は知ることのできない子どもの相談内容から、子どもの不安に寄り添い、取り除くために、子どもにどう関わり、寄り添うのかについて考え、意見交換します。

■第2分科会／研修室1

- テーマ：親業（おやぎょう）～子どもの考える力をのばす親子関係のつくり方～
- 講師：西浦公子（にしうらきみこ）さん／親業インストラクター ぷろじえくとえん代表
- 内容：子どもとの関係に、少なからず悩みをもっていないですか？
「子どもが育つ上で親がいかに関わるか」という親の側に焦点を当てて、子育てを見直すのが親業です。親業には、子どもとの関係をよくする具体的・且つ実践的な方法がつまっています。明日からの親子関係に、大きな変化を期待できます。さらに親子関係だけでなく、友人、隣人、その他あらゆる人との関係にも応用可能な方法です。

■第3分科会／研修室2

- テーマ：PTA活性化にむけた『おやじの会』のあり方について考える
- 講師：日野彰則（ひのあきのり）さん／倉吉幼稚園副園長
- 内容：PTAの顔ぶれをみると何故かお母さんばかりでお父さんの参加が少ないのがどこのPTAでも抱えている悩みでは？幼稚園や小学校での『おやじの会』活動報告を基に、地域づくりまで発展させている事例を紹介いただきながら、多忙なお父さん達にPTA活動に参加してもらう意義や方法についてみんなで考えてみたいと思います。

平成27年度PTA指導者研修会 参加者アンケート集計結果及び反省

【PTA指導者支援事業（中部会場）】

- ・全体研修については約95%が肯定的、前会長の話が身近でわかりやすかった
- ・分科会のテーマについては約99%が肯定的、概ねニーズの高いテーマ選択ができた。
- ・各単Pでの活用については約95%が肯定的、単Pでの研修に活用したいとの意見もあり。
- ・研修したいテーマは、SNS、インターネット関係の研修がしたいとの声が多い。
- ・ワークショップ形式を取り入れることで参加者の満足度が高まっている。
- ・全体会の会場が狭かった。
- ・参加者のネームプレートがあったほうが良かった。（ワークショップ等の時、誰と話しているかわからない）
- ・全体会の役割分担があまり出来てなく、参加者の誘導等がスムーズにできなかった。

1 学校区分

①小学校 ②中学校 ③その他

2 参加分科会

①第1分科会 ②第2分科会 ③第3分科会

	小学校	中学校	回収計	参加者数
第1分科会	16	11	27	27
第2分科会	29	12	41	41
第3分科会	16	5	21	23
計	61	28	89	91
率	67.0%	30.8%	97.8%	100%

（全体会参加101人）

3 全体研修について

①良い ②おおむね良い ③あまり良くない ④良くない

	良い	おおむね良い	あまり良くない・ 良くない	回答なし
計	44	40	0	5
率	49.4%	44.9%	0%	5.6%

（理由等）

- ・井上洋子さんの話（体験談等）がわかりやすく聞きやすかった。（17）
- ・子どもにも他の役員さんにも助けてもらいながらやっていくという話がよかった。
- ・教頭先生ってすごい仕事量なんだと改めて知った。
- ・初めてのPTA役員なので、比較的よくわかったが、まだまだ未知なところなのでイメージしにくかった。
- ・PTA役員の役割がよくわかった。（保護者、先生とのつながりの役目の内容が参考になった。）（4）
- ・役員としての原点が聞けてよかった。——目的をもつ事！！
- ・PTAがどういう組織かとてもわかりやすかった。（3）
- ・PTA活動について少し理解できたように思う。（6）
- ・どのお話を聞いても、外に出られる方ばかりではないので・・・と思います。そこが大きな課題かも。
- ・PTA役員となりたくさんのひとに出会える事、様々な行事に参加してこうしてお話が聞ける事に感謝しています。

- 『うちの学校のイチオシ!』すぐに答えていけるようになるととてもすばらしいPTA活動ができるとはおもいますが、なかなかスムーズに事が運びませんね・・・課題ですね。
- ・考え方一つ違えば何かが変わる。少し気持ちが楽になった。
 - ・理想的なことより現実的な話がわかり易いのは？（初めて参加したものの前会長と言われても全然わかりません）
 - ・子どもに対してだけでなく、親自身の成長の為と実感しています。本当にたすけられてのお互い様のことを学ばせて頂いている日々を振り返りできました。
 - ・助けを求め応えてもらえる関係、大切と思いました。
 - ・マイクの音がもう少し大きければよかった。
 - ・たのしく活動しようと前向きになった。
 - ・初PTA役員なので、心構えをわかりやすく教えて頂いてよかった。
 - ・PTA会長、副会長の役割は大変なことには変わらないが、イメージが今までよりも良くなった。
 - ・開会行事、施策説明等は短い方が良い。協議会のしくみは別の会合でも聞いたし、役割等についてもそんなに長い話でなくても良い。半分の時間にして、分科会へ進んだ方が良かった。長かった。
 - ・PTAの楽しさについて再確認できた。
 - ・同じことを悩み、考えておられるなど、共感する部分が多かった。
 - ・役立つ情報が聞けた。(2)
 - ・開催の時期を早めたほうがいい。
 - ・少々聞いたことがある内容だった。
 - ・役員になって自分の為になる事もある事がわかった。

分科会について

(1) 分科会のテーマについて

- ①良い ②おおむね良い ③あまり良くない ④良くない

	良い	おおむね良い	あまり良くない・ 良くない
第1分科会	14	12	1
第2分科会	36	5	0
第3分科会	16	5	0
計	66	22	1
率	74.2%	24.7%	1.1%

(理由等)

【第1分科会】

- ・スクールカウンセラーが実際どのような事をされているのかがわかった。(13)
- ・他のたくさんの方の保護者や先生にも聞いてほしい内容だった。
- ・今以上に子どもと接していこうと思いました。沢山の事が聞けて良かったです。
- ・スクールカウンセラーの先生の話聞くのが初めてで、大変なことだなあと感じました。子供に寄り添って守ってあげることの大切さをしみじみ考えさせられました。
- ・普段聞くことの出来ない臨床心理士の話が聞けて、勉強になった。(2)
- ・スクールカウンセラー(心理士さん)は守秘義務があるので、このタイトルはやりにくいと思った。
- ・少し難しい話だった。専門性のある話で、身近ですが少し遠い話でした。(2)
- ・もう少し子供の心理を話してくれる方が、もっとよかった。
- ・こういう時には話をしてみてもいい？などのアドバイスもあればよかったかなと思います。
- ・悩む事について話したり聞いたりする事が大事。普通にできている事への理解。
- ・今の仕事が貧困や病気が問題として根底にあると思われる家庭などと係わる仕事なので、学校、子供の側の問題が少しでも理解できるお話が聞けて良かった。

【第2分科会】

- ・具体的でとてもわかりやすかった。(4)
- ・ズシリと心に響くお話でした。少しずつ活用していこうと思います。
- ・これから子育てに活かしていきたいと思います。
- ・子ども、人間関係などについて勉強になりました。
- ・やっぱり親子関係が基礎だとおもいます。

- ・親子関係だけでなく、夫婦、PTA、地域、仕事などに活用できると思いました。(3)
- ・思春期の子どもであっても、心を大切に、人として正直に生きることを初心にもどって子育てをしようと思いました。
- ・親としての子どもへの接し方考えることができた。(3)
- ・言葉の大切さをおしえられた。
- ・子どもに対する言葉かけの大切さがよくわかった。
- ・どのテーマも興味深いと思いました。
- ・親とはどうあるべき存在なのか考える機会となった。
- ・自分の子育ての毎日にすぐに役立つ内容で、自分を振り返れた。
- ・大好きを素直に表現したい。

【第3分科会】

- ・グループ協議が楽しかったです。
- ・講師さんの軽妙な語りと、すごい活動報告が沢山勉強になりました。
- ・同じことを悩み、考えておられるなど共感する部分が多かった。(2)
- ・講師の具体例が大変参考になった。(3)
- ・各学校での取り組み、思いが参考になった。(2)
- ・父親のPTA参加は重要な課題だと思う。
- ・TKJ法はやはり話がはずむと思います。
- ・活動を下の世代にも伝えていく事など
- ・まだまだ勉強途中なので参考になった。
- ・もう少し時間があってもよかった。

(2) 本日の研修内容を各学校で活用しようと思われませんか。

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまり思わない ④まったく思わない

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない・ まったく思わない	回答なし
第1分科会	18	7	0	2
第2分科会	27	13	1	0
第3分科会	11	9	0	1
計	56	29	1	3
率	62.9%	32.6%	1.1%	3.4%

(理由等)

【第1分科会】

- ・これまでスクールカウンセラーのことを聞く機会がなかったので良いと思う。
- ・PTA役員、学校がまとまって協力がし合えるよう、今後活動をしていきたい。
- ・あまりないめずらしい研修だから。
- ・この様な話を聞く機会を設けてみたい。
- ・どちらかという、私個人のスキルアップになるかなあと思った。
- ・知識向上の為。
- ・自分でもできることがあると思ったので少しずつ。
- ・資料等を持ち帰り、活用できたら思いました。
- ・PTA活動のやり方や、井上洋子さんの話の内容を実践に結びつけたい。
- ・興味深いと思ったから。
- ・なにかのヒントになるはずだと思う。
- ・スクールカウンセラーの人達がどう思い日ごろカウンセリングしているのかが会員の方にもわかるから。
- ・スクールカウンセリングの仕事をしっかり伝えていきたい。
- ・子どもの問題としてだけでなく、社会全体の問題として皆が知っておくべき内容だったと思います。

【第2分科会】

- ・研修会に無料で講師を派遣してもらえることを初めて知りました。
- ・家庭でためしたい。
- ・良い内容なので、自分ひとりではもったいないから。
- ・子供が困った行動をとった時にどう対応したらよいか声掛けのヒントを教えていただいて大変参考になったので。
- ・どの親にも必要な内容だと思います。

- ・とてもいい内容だったので他の方にも知って欲しい。
- ・親業とてもためになると思います。
- ・保護者さんの子供への愛情が深まる言葉を広めたいですね。
- ・言葉使いでずいぶん変わることを皆に伝えたい。
- ・わかりやすい。子育て真っ最中の親たちには役にたつのでは。
- ・親業のお話など良いと思います。
- ・一人でも多くの人に伝えたい。
- ・どういうふうを活用できるのかがよくわからない。
- ・子どもを認めながら、親同志がつながるといい。
- ・PTA 会員でいい話を共有すると、大きな輪になってくと思う。
- ・以前もお聞きしましたが、何度聞いてもいいです。
- ・親業については、もう聞いた方も多いかもしいないが、聞いたことがない人もあれば、たくさんの人に聞いてもらえる機会があればと思います。
- ・他の方にも聞いてもらいたかったです。
- ・子どもに「生まれてきてありがとう」と伝えたいと思ったので。
- ・子育て支援、ボランティア（絵本の読み聞かせ 12 年目）に活用したいですし、役員会の最後にでも使ったり、学年 PTA でも使いたいです。

【第3分科会】

- ・この体験を他の人にも伝えたいです。
- ・何とか中学校というエリアは広いけど、ひとつでも実践していければと思う。
- ・PTA 活動にプラスになる。
- ・方法しただと思う。
- ・できる事を考えて取り入れてみたい。
- ・実践する方向にもって行きたいと思います。
- ・ぜひ実践したいです。
- ・あてはまるものは考えたい。
- ・具体的な話が聞けたから。
- ・役員研修で利用できそう。

5 今後、研修を受けたい内容等があれば記入してください。

【第1分科会】

- ・ケータイ・スマホ・SNSについて（3）
- ・いつも同じような研修になってしまうので、今回のようなあまり聞きなれない研修なら、積極的に参加したい
- ・いじめの問題（いじめをどうしたら良いか？いじめ子が変わる？いじめられ子が変わるべき？）（2）
- ・交通安全について
- ・虐待の問題
- ・子どもの運動能力の限界（スポ少などで様々な練習方法があると思いますが、これ以上無理をさせるとどうなる… とか）、幅広い見方で話を聞いてみたい

【第2分科会】

- ・親業訓練
- ・発達障害・不登校等について
- ・父親としてのあり方
- ・インターネット・中学生のLINE
- ・子どものネット環境の現状についての内容
- ・アンガーマネジメントについて
- ・親業についてもう少し知りたい
- ・第3分科会のテーマも気になっていました。みんなが笑顔になれるPTAを作りたいし、全員参加のPTAにしたいから

【第3分科会】

- ・インターネットの事
- ・活動事例の共有（成功だけでなく失敗も含む）

6 本日の研修全体をとおしてお気づきの点があればご記入ください。

【第1分科会】

- ・参加が多くてとてもいい研修会になったのではないのでしょうか
- ・テーマ別にされていて選択するのに迷いました
- ・会場の設営についてですが、前席が沢山空いているのに、後ろに席を増やされて遅く来られた方が座られました。何とも言えない感じで、早めに来て座っていた方から？って雰囲気が出ていました。
- ・どこのだれだかわからないので、何かわかるものがあればいいのではないのでしょうか？
- ・深い分科会で良かったです。
- ・始めて参加させて頂きましたが、いろいろな話が聞け、勉強になりました。

【第2分科会】

- ・全体会でマイクの音が小さかった
- ・全体研修の席が少し狭いと思いました
- ・実際に隣の人達とかかわりを持って勉強できたので良かった。講演を聞くだけでなく参加したって気持ちになれた
- ・とても良い研修会でした。ありがとうございました。
- ・期待以上でした。貴重な時間をすごせたとします。
- ・時間が短く感じられた。すぐにでも実践できるような内容の分科会でした。
- ・準備・運営にたずさわった方、お疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・非常に良い研修会でした。

【第3分科会】

- ・講演ありワークショップあり、盛り沢山でした。ありがとうございました。
- ・分科会でネームプレートがあってもよいかと思います。
- ・3つとも分科会に参加したかった。
- ・他のPTAの関係者とお話できた事が一番よかったです。
- ・とても為になりました。ありがとうございます。

平成27年度PTA指導者研修会 実施要項

【PTA指導者支援事業（西部会場）】

1 目的

家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織であるPTAの会員を対象に、現代的課題をふまえながらPTA会員としての資質の向上を図る「PTA研修会」を実施することで、会員から各单位PTAに研修内容を広げていき、PTA活動の活性化、子ども達の基本的な生活習慣の定着化、学習環境の整備を図る。

2 期日・会場

平成27年6月13日（土）

米子コンベンション

3 参加者

西部地区各小・中学校単位PTA会員2名以上

4 日程

9:00 9:30

12:00

受付	開会	分科会（テーマ別開催）	閉会
----	----	-------------	----

<分科会>

1. 単位PTA活動推進（少年非行の現状について）

最初に美保学園園長様より問題提起をしていただき、その後少人数の班編成を行い、意見を交換していただきます（おおよそ100分間）。

その後、各班にて出た意見を2分程度で発表していただき、西部教育局に助言をいただきます。

2. 広報紙作成について

新日本海新聞社より講師をお招きし、県P優秀作品の講評・広報紙編集ワークショップを行います。

主催：鳥取県PTA協議会

協力：鳥取県教育委員会西部教育局

西部地区指導者研修会 まとめ

PTA 活動推進

まず、美保学園の園長様にご講演をいただき、その後グループミーティングを行いました。美保学園の園長様の話の中で、少年院の生活、学習についてお話があり、高校生には入学式・編入式があり、所属していた学校の校長先生による卒業証書の授与式など、節目節目の行事を行うことを大切にされているとの話を聞き、私たちの中にその大切さが本当にあるのか再認識をさせられました。

グループミーティングでは西部教育局の船越係長の進行により、美保学園の講演をもとに話し合いがもたれ、大いに勉強になったとの感想が多数ありました。

広報紙

まず、日本海新聞社の編集局長様による記者の視点からというサブタイトルの下、優秀広報紙の講評をいただき、その後記事の書き方、編集の仕方等のワークショップを行っていただきました。

参加者の皆様のアンケートにもありましたが、とても勉強になったとお声をいただきました。

今年は例年より2週間早く行えたため、1学期の広報紙作成から役に立つとお声も多数いただきうれしく思っています。

指導者研修会西部会場アンケート結果

PTA 活動推進

◆学校区分

小学校 35名 中学校 20名

◆分散会テーマについて

良い	だいたい良い	あまり良くない
48名	6名	1名

◆本日の研修した内容を各学校で活用しようと思われませんか。

活用したい	今後検討したい	活用は難しい
21名	29名	3名

◆本日の研修について来年度以降、開催すべきかどうかご記入ください。

是非希望する	できれば希望する	あまり希望しない
29名	21名	3名

◆自由記述

毎年違ったテーマ・問題について気付き学べる。
PTA 活動のみならず役に立つ。
本日のようなワークショップに今後も参加したい。
少人数の分散会がいいですね
毎日の当たり前のような生活の大切さを実感しました。
美保学園のことを知ることができてよかった。
漢字を使用したアイスブレイキングが場を和ましてよかった。学校でも取り入れたい。
大切なことに気づかされた。
みんなが意見を言える雰囲気が大変良かった。
学校で内容報告させていただきますが、やはり家庭内での関りや会話をしっかりとし、1人にさせないことが大切だと思いました。
他の学校との意見交換は大変良かったです。
家族のルールは大事ですね。

他同意の意見が多数ありました。

広報紙

◆学校区分

小学校 23名 中学校 15名

◆分散会テーマについて

良い	だいたい良い	あまり良くない
25名	12名	0名

◆本日の研修した内容を各学校で活用しようと思われませんか

活用したい	今後検討したい	活用は難しい
23名	12名	1名

◆本日の研修について来年度以降、開催すべきかどうかご記入ください。

是非希望する	できれば希望する	あまり希望しない
12名	19名	2名

◆自由記述

読む人が見やすく、分かりやすい紙面を多角的に作っていきたいと思いました。
他の学校の広報紙分析が勉強になる。
講師の先生の話が早すぎず説明がとても聞きやすかったです。
写真の撮り方や企画力が広報紙を作っていくことが分かったので良かったです。
よりわかりやすく第三者に伝えるかが課題だと感じました。
いつもと違った内容などを載せたらいいなと思いました。
限られた予算の中での良い紙面づくりの良い方法を教えていただきたい。
受賞校の作成手順がどのようにされて出来上がっていくのか、どのように役割分担されているのか知りたいです。

他同意の意見が多数ありました。